

平成22年度 宮崎市立青島中学校 学校関係者評価書

教育目標 生徒像	「豊かな心を持ち 自ら向上に励む 心身ともにたくましい生徒の育成」 「進んで学習に励み、自己の伸長をめざす生徒」「豊かな心を持ち、喜んで奉仕する生徒」「礼儀正しく、規律を重んじ、言動に責任をもつ生徒」 「自ら安全を守り、健康でたくましい生徒」			
項目	手段・ゴールイメージ	学校の自己評価 (成果・課題)	改善策	学校関係者委員評価
「基礎・基本の徹底と学力の向上」	1 学習指導方法の工夫改善と個に応じた指導の充実 2 地域の特性を生かした教育活動の推進と充実 3 基本的学習習慣の確立 (姿勢、発表力等) 4 家庭学習の充実 (課題の見届け、指導)	1 積極的な講師招聘から本物を知る教育の推進により、生徒の意欲的な学習態度につながった。 2 授業中の学習指導内容の工夫や指導、姿勢や発表については、生徒・職員・保護者ともに本校の課題として捉えている。	○ 学力をあらゆる方面から捉え、生徒の個性を認め、誉め、自信をもたせる教育の推進。(標語等の作成) ○ 青中礼法と青中学習心得の作成。 ○ 地域人材活用事業の推進。 ○ 研究授業の計画。	○ 生徒と先生の関係がとてもよい印象を受けた。学級設営にも工夫が見られた。 ● 学年の差はあるが、授業中の私語等気になるところもあった。
「地域教育の推進」	1 地域の伝統芸能の継承 (青島臼太鼓踊り、野島神楽、青島神楽等) 2 地域行事への積極的な参加 (中学生の主体的な運営参画) 3 授業や学校行事等への地域人材の活用	1 青島臼太鼓踊りや野島神楽、内海雨乞太鼓は、学校行事や地域行事、大会等で積極的に披露し、伝統芸能継承に取り組んだ。また、地域行事運営にも積極的に関わった。 2 陶芸・注連縄飾り作り・魚調理体験等、本物を知り学び、自己育成力につながった。	○ 地域の伝統芸能継承へ向けて、積極的な関わりを継続して推進する。 ○ 地域人材活用事業を継続させ、体験的な学習から生徒の視野を広げ、地域を知る活動を推進する。 ○ 地域行事への積極的参加。	○ 地域との連携に重点を置いて指導されている様子が伺える。地域と連携して今後も開かれた学校づくりに努めてほしい。
「進路指導の充実」	1 個性を生かす進路指導の充実 2 主体的に進路選択できる能力の育成 3 将来にわたって自己実現を図ることができる能力や態度の育成	1 本物の体験活動を通し、将来に夢や希望のもてる経験を積むことができた。 2 進路指導室を設置し、進路に関する情報提供や指導の充実に努めることができた。 3 社会に適応し通用するために、本校生ならではの特色ある取組や表現力育成が課題である。	○ 学校生活や体験学習をリンクさせ、目標である「世界へ羽ばたく青中生を目指して」を意識させ、挨拶や返事、正しい言葉遣い、表現力の育成を図る。 ○ 小中一貫教育として、青島地区の学校での研修会の実施・充実。	○ 中学生の生活態度が大変落ちついてきていると感じる。今後もさらによさを伸ばす進路指導を工夫していただきたい。
「生徒会活動の充実・活性化」	1 生徒の自発的・自立的な実践活動の推進 2 ボランティア活動等、奉仕的な活動への主体的な取組 3 学校生活の充実・改善及び学校行事等への積極的参画 (挨拶運動、専門委員会の充実)	1 生徒会が中心となり、慈善活動など自発的な活動ができるようになった。また、地域行事や学校内の奉仕活動 (清掃等) に、自主的な取組が数多く見られた。 2 朝の挨拶・清掃ボランティアなど積極的な取組がみられ、学校に活気がでてきた。	○ 毎月の学級討議や専門委員会、生徒集会をリンクさせた取組の実践。 ○ 専門委員会と生徒集会の内容の変化から、真のリーダーの育成を図る。 ○ 「自ら」の行動ができる朝のボランティア活動の更なる推進	○ 生徒会を中心に、学校行事や地域の行事に積極的に参加している姿が見られ、大変好ましい。 ○ 挨拶、礼儀等も良くなってきている。
「特別支援教育の充実」	1 知的障がいや情緒障がいの特性や行動を理解した個別の指導計画作成 2 個々の将来を見通した社会的自立への支援 3 校内協力体制等の確立	1 毎月「いじめ・不登校対策委員会」の時間に、特別支援学級の生徒についての報告と協議を行い、共通理解・実践ができた。 2 研修会を4回実施し、資質の向上や具体的な対策について協議できた。ただ、個別の指導計画については、本年度の実践を踏まえた改善が必要である。	○ 定期的な報告と指導計画についての継続した協議を実施する。 ○ 関係諸機関との連携した研修会の継続した実施と、更に充実した研修会にするために講師を招聘する。	○ 個に応じて指導されている様子が伺える。今後も一人一人の実態に応じた指導を行ってほしい。

